

島根県益田市高津地区

地域づくりのテーマ：高津っ子の住みよいまちづくり



①地区の概要

【地区の現況】

人口 7,493人、高齢化率38.8%（令和7年12月末時点）
山・川・海に囲まれた、歴史と文化の息づく地区である。

【地区の魅力】

地区内それぞれのエリアの特性を生かしつつ、生活に必要な施設・設備も整っており、とても暮らしやすい地区です。又、活動団体も多く地区の行事も活発です。

小学校1、中学校1、高校1、高等技術校1、保育園4、があり教育機関も充実したまちです。

【地区の課題】

少子高齢化、人口減少、諸団体等の後継者不足、伝統文化の継承、人間関係の希薄化等、様々な分野で問題・課題を抱えています。

②実施団体の概要

【団体の名称】

「万葉の里 高津未来の会」

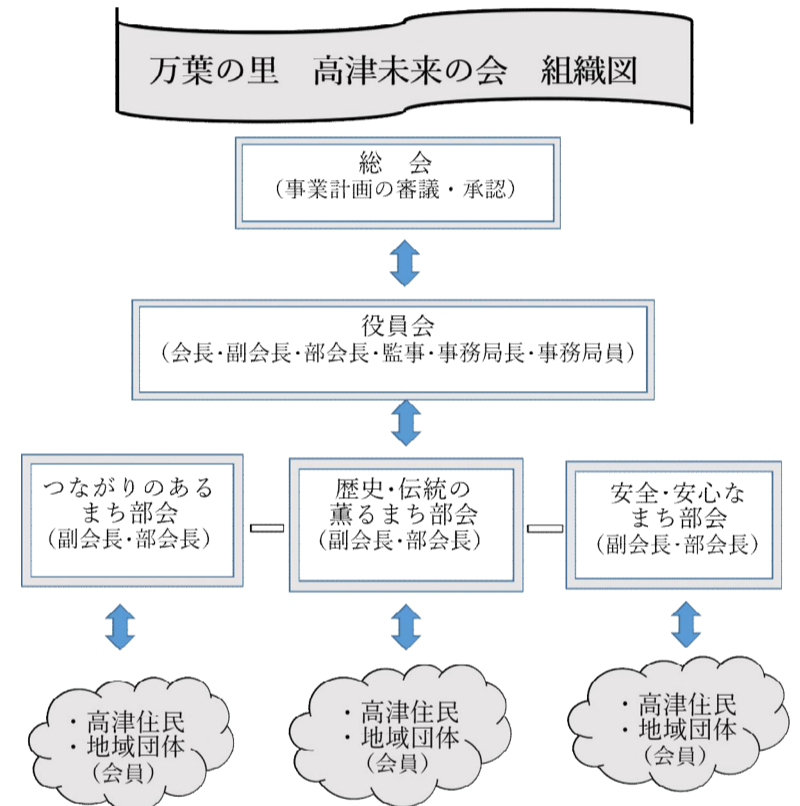
【構成団体、構成員】

- ・高津地区住民
- ・各種団体
- ・各種団体から代議員20名
- ・公募より代議員3名
- ・役員（会長1名、副会長3名、部会長3名、監事2名）

「ロゴマーク」



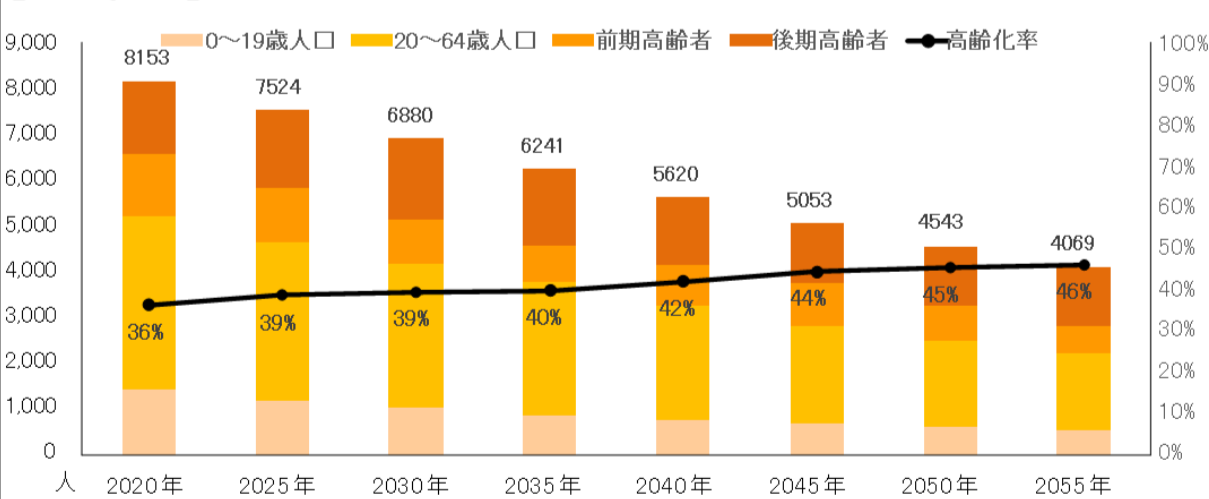
【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率

益田市 高津地区



資料：島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

☆「広報 高津」を年4回発行し、公民館、自治組織や他団体の情報を地区内に回覧。その他にも、会議・行事等の様子もその都度インスタグラムで情報発信。告知端末放送も活用し、より幅広い世代へと情報発信に努めている

☆公民館活動と並行して、講座や事業に取り組んだ

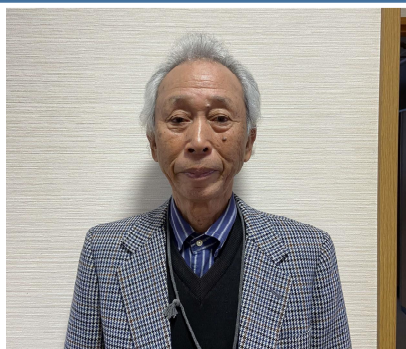
☆永年続けられている子ども見守り活動（登下校等）を継続し進めてきている

☆益田市と島根県立大学との共同研究を活用。昨年度作成したデジタル「高津十景」の発展的な成果物とし、AIを活用したデジタル民話・紙芝居を作成。小学3年生の総合的な学習時間の中で披露した

☆ひとまるフェスタやありがた市を開催。地域の人々が参加できる場・人と人がつながる・人が集う場づくりを実施している

【会長よりメッセージ】

会設立以来4年間、地域の活性化を願って活動を進めてきたが、活動の実績及び住民の関心・意識・参加状況等から推察するに、会の「ねらい」の達成には遠いものがあり、当職の力量不足を痛感している。会の組織の見直し、役員等の編成のあり方等、抜本的な見直しを行うことが肝要と考えている。



島根県益田市高津地区

⑤こんなことが話し合われています



○定期総会を5月17日(土)に開催

- ・事業報告、決算報告
- ・役員改選
- ・事業計画(案)、収支予算(案)の承認



○役員会を4回行いました(1月末現在)
○各部会会議は、各部会ごとに必要に応じ開催。役員会で、情報共有を行ない事業を実施した



○歴史伝統文化の薫るまち部会
× 連理松センター

「螺灯」でミズベリング会場をライトアップ
小学生11名、明誠高校生ボランティア2名、部員で150個の螺灯をつくった



○第2弾 特殊詐欺被害防止教室
1回目の参加者から「地元で開催してほしい」と要望があり、緑ヶ丘地区で開催した。元郵便局職員による実体験を交えた話もあり、参加者にとって現実味のある、学びの多い時間となった

⑥こんな地域づくりを行なっています

安全・安心なまちづくり



特殊詐欺被害防止教室



花いっぱい運動



通学路の安心確認



登下校の見守り

毎日の見守り活動

ありがた市



○原則毎月第2・第4木曜日
○10時～11時に開催。
今年度で3年目。毎回40～50名の集客。

ふるさと教育デジタルアーカイブ事業 × 県大

デジタル民話・紙芝居の作成
小学校からの要望をもとに、AIを活用したデジタル民話・紙芝居を作成。高津十景により興味関心をもってもらえるように作成



古写真を収集中
高津の街並みを地図にまとめ変遷が分かるようデジタルマップを作成予定



松崎の郷



高津蠟座石臼

歴史「螺灯キャンドル作りと歴史のお勉強」



万葉の里 ひとまるフェスタ開催



10月12日に高津地区文化祭と同日開催し地域を盛り上げた

お問い合わせ先

名称: 万葉の里 高津未来の会
住所: 〒698-0041 島根県益田市高津2-5-2(高津公民館内)
電話: 0856-23-1791



☆高津公民館と共に地域の情報発信しています。